

【滋賀県醒井養鱒場】
の指定管理者募集前におけるサウンディング調査実施結果

1 参加事業者数 【2】者

2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

【県からの質問】
指定管理における観覧と養鱒の業務分担について
<ul style="list-style-type: none">●観覧と養鱒等で業務を分けると、県のコントロールが難しいうえに責任の所在がわかりにくくなる懸念がある。 ●観覧と養鱒が一体化した施設であるので、業務を分担することは難しいと思われる。
観覧施設としてのあり方について
<ul style="list-style-type: none">●多様性にどのように対応していくかが大切。例えば、学習館に音声ガイドを付いたり、トイレの場所を見つけやすい等ソフトな工夫が求められる。 ●現在の研修は小中学生がメインとなっているが、学びたい大人も多いはず。年齢層を広げて、大人（高齢者）をターゲットにした研修（学びの場）や普及のきっかけになる学べるプチツアーを開催するのも一つ。 ●セキュリティ面などの課題はあるかもしれないが、他施設に倣って入場券の事前購入や支払にキャッシュレスを設けることは今後検討すべき。 ●ただ単に入場者を増やすことを目的とするのではなく、リピーターが楽しめる仕組みづくりや若者が発表し活躍のできる場づくり、地域のサポーターを増やすことが今後養鱒場に求められる。
【事業者からの質問・意見】
自主事業について
<ul style="list-style-type: none">●自主事業によって現在の指定管理者にどれくらいの収益が出ているのか見える化してほしい。 ●情報管理は重要であるが、個人情報の保護に配慮しつつ、リピーターやヘビーユーザーとの関わりを密にするための取組が実施できるような取り扱いを検討してほしい。

施設のあり方（管理等）について

- 立地上、施設の老朽化が早く修繕費が多くなるため、指定管理者が修繕する金額を引き下げることが望ましい。
- 建物だけでなく、池も含めた長期的な修繕計画を作成し、県が適切な修繕を実施することが望ましい。
- アクセスの悪さが入場者数に影響している。県全体で醒井養鱒場のアクセスについて検討が求められる。